

平成 28 年度日中韓ユース・サミットの記録  
(対象国：日本・中国・韓国)

## 1. プログラム概要

日中韓三か国の「地域における信頼と協力を構築する」という共通目標のもと、中国・韓国から大学生・大学院生 20 名が、8 月 22 日～8 月 26 日の日程で来日し、日本の大学生・大学院生 10 名を含む 4 泊 5 日の「日中韓ユース・サミット」に参加しました。

一行は、都内にて、オリエンテーション及び日中韓関連の講義を聴講、少子高齢化社会における地域づくりをテーマとして、グループ毎に各国の状況についての意見交換、少子高齢化問題についての講義を聴講しました。その後、石川県を訪問し、テーマに関する講義の聴講、施設等の見学及び関係者や地元金沢大学の学生と交流し、老若男女、障害の有無に関わらず、みんなが支え合う社会を目指し、斬新な取り組みを進めている生涯活躍の街づくりの取り組みについての理解を深め、グループ毎に多文化共生に関する意見交換を行いました。また、各々の関心事項や体験について SNS を通じて对外発信を行いました。都内に戻り、帰国前に、訪日経験を活かしたテーマについての政策提言をグループ毎に発表し、日中韓三か国へ同政策提言を提出しました。

### 【参加国・人数】

30 名(日本 10 名、中国 10 名、韓国 10 名)

### 【訪問地】

東京都, 石川県

## 2. 日程

8 月 22 日 (月曜日)

羽田国際空港より入国

来日時オリエンテーション

【講義聴講】 テーマ：日中韓関係・交流の重要性、日中韓三国協力事務局の役割

講師：日中韓三国協力事務局 事務局次長 梅澤 彰馬氏

8 月 23 日 (火曜日)

【意見交換】 各国の少子高齢化問題について

【講義聴講】 テーマ：活力ある超高齢化社会を共創するまちづくり

講師：東京大学 高齢社会総合研究機構 特任講師 後藤 純氏

【日本の伝統文化体験】 浴衣・温泉

8 月 24 日 (水曜日)

【テーマに関する視察・交流】 シェア金沢, 行善寺

【講義聴講】 テーマ：福祉で描く JAPAN WAY (生涯活躍のできる街づくり)

講師：社会福祉法人佛子園理事長 雄谷 良成氏

【意見交換】 多世代共存の街づくりについて

8 月 25 日 (木曜日)

【日本の伝統文化視察】 兼六園

東京へ移動

【日中韓ユース・サミット】政策提言の発表，歓送会

8月26日（金曜日）

【日本の近代文化視察】秋葉原

羽田国際空港より出国

### 3. プログラム記録写真

	
8月22日 日中韓三国協力事務局の講義	8月22日 歓送会
22 <sup>nd</sup> August, the Lecture by Trilateral Cooperation Secretariat	22 <sup>nd</sup> August, the reception party
	
8月23日「少子高齢化」について意見交換	8月23日 東京大学後藤講師による講義
23 <sup>rd</sup> August, the discussion of the low birthrate and longevity problem	23 <sup>rd</sup> August, the lecture by Mr. Goto from the university of Tokyo

	
<p>8月23日 温泉や浴衣を通じた日本文化体験 23<sup>rd</sup> August, the Japanese cultural experience (Hot spring and Yukata)</p>	<p>8月24日 シェア金沢訪問 24<sup>th</sup> August, Visit to Share Kanazawa</p>
	
<p>8月24日 佛子園雄谷理事長による講義 24<sup>th</sup> August, the lecture by Mr. Ryosei Ohoya of Bussi-en President.</p>	<p>8月24日 グループによる意見交換 24<sup>th</sup> August, the group discussion</p>
	
<p>8月24日 行善寺訪問 24<sup>th</sup> August, Visit to Gyozen-ji</p>	<p>8月25日 兼六園訪問 25<sup>th</sup> August, Visit to Kenrokuen</p>

	
<p>8月25日 政策提言のグループ別発表</p>	<p>8月25日 政策提言のグループ別発表</p>
<p>25<sup>th</sup> August, the Presentations of the policy recommendations by groups</p>	<p>25<sup>th</sup> August, the Presentations of the policy recommendations by groups</p>
	
<p>8月25日 政策提言のグループ別発表</p>	<p>8月25日 政策提言の提出</p>
<p>25<sup>th</sup> August, the Presentations of the policy recommendations by groups</p>	<p>25<sup>th</sup> August, Submitting the policy recommendations</p>
	
<p>8月25日 日中韓三カ国協力事務局 岩谷滋雄前事務局長による総評</p>	<p>8月25日 各国代表者による挨拶</p>
<p>25<sup>th</sup> August, Comments by Mr. Shigeo Iwatani from former secretary general of Trilateral Cooperation Secretariat</p>	<p>25<sup>th</sup> August, Opening Remarks by representative students from each countries</p>



8月25日 学生と来賓、関係者との集合写真

25<sup>th</sup> August, Photo session of the Students, the guests and related persons

#### 4. 参加者の感想（抜粋）

##### ◆ 日本人学生

1. シェア金沢:シェア金沢で働く人々は、石川県に若者が残るよう様々な取り組みをしていることを学びました。その取り組みが実を結ぶことを願っています。
2. 佛子園:「ごちゃ混ぜ」という、一つの場所に様々な人々が生活するスタイルがあります。これを維持することは困難ですが、佛子園に住んでいる人々は、自身の生活を楽しみお互いに協力し合っています。私は、それが高齢化社会の理想的なライフスタイルのようなものだと思います。様々な人との共存は、高齢化社会の鍵となると思います。

##### ◆ 中国人学生

私にとって、どちらかといえばこの深刻な課題について日本と韓国の仲間と取り組んでいくのは初めての事でした。もちろん課題に対しての私たちの考えや表現に違いはありましたが、このことが私たちの関係をより良いものにし、プログラムを終了できたと思っています。若者世代間の交流がより頻繁に行われるようになれば、将来社会の柱となる人達が、より習慣づいて、他国を尊重できるようになり、互いの国が円滑に協力し合えるようになると信じています。

##### ◆ 韓国人学生

このサミットは、ただ同じ学校へ通うよりも、お互いの考え共有したり友情関係を築けた大変エネルギーな機会でした。日本・中国・韓国は、共通点が多く歴史的背景がとても似ていると感じました。また、双方の関係構築と強化には素直に接することが平和をもたらすカギだとわかりました。韓国ですぐに取り入れたい多くの提案と政策がありました。

## 5. 受入れ側の感想

- ◆ 施設への訪問，実施されているプログラム，施設利用者の状況などあらゆるところに興味を持ち貪欲に学ぼうとする姿勢が感じられ，参加者の少子高齢化問題や多世代共存への強い関心がうかがえました。（佛子園関係者）
- ◆ 参加全員がプレゼンを真剣に聞いており，幅広い分野に対する質問がでるなど，参加者の意識の高さと国を代表して参加しているという自覚が見て取れました。（金沢大学学生）
- ◆ 言葉の壁はありましたが，意見交換を通して，一緒に楽しみながらお互いを理解することができました。次の機会があれば積極的に参加したいと思います。（金沢大学学生）

## 6. 参加者の対外発信

 <p>Uijin Hanさんがアルバム「Trilateral Youth Summit 2016」に写真10枚を追加しました。1次速 Asami Takahashiさん、他7人、場所 東京都</p> <p>8月27日 14:59</p> <p>2016 한일중 3국 청년외교장상회담에 한국 대표팀으로 다녀왔습니다! 고향과 외지에서이라는 주제 아래 일본, 중국 친구들과 토론하고 장래 계획을 작성하는 과정을 통해 우리 교류의 중요성을 이해하고 젊은 열정을 얻을 수 있었습니다. 좋은 기회였습니다! 대한민국 외교부에 감사드립니다! 가서 막내 형겨주신 연니 오빠를 정말 감사하고 꼭 리유니언에서 뵙고!</p> <p>Trilateral Youth Summit 2016 was my lifetime experience full of inspiration! I am so glad that I could be the one to participate in this program. Under the theme of community development addressing declining birthrate and aging population, we could face some common challenges and uni... もっと見る</p>	 <p>川野 真早さんが写真10枚を追加しました。1次速 Jenny Yoonさん、他6人、場所 東京都</p> <p>8月26日 22:56</p> <p>8/22-26までの五日間、日中韓ユースサミットに参加させていただきました。ホテルの2階に集ってチームで5時間近くぶっ通しでディスカッションした経験や白から半中韓係についてルームメイトと議論した経験、バスの中で互いの経歴について語り合った経験、どれもとっても生涯の宝物です。五日間という短期間でしたが、機会には古くからの友人に近く親近感のようなものを感じます。もうすぐ22になるのに、別国で先輩を切って迎えたのは予想外でしたが、とにかくこの関係を絶やさず、大事にしていきたいです。... もっと見る</p>
<p>韓国人学生の発信（抜粋）</p> <p>ユース・サミットの一員として参加できたことを非常に嬉しく思います。本サミットでは、違う価値観を互いに共有し合うことの大切さを学びました。</p>	<p>日本人学生の発信（抜粋）</p> <p>たった5日間という短いプログラムでしたが他参加者には非常に親近感が感じられました。参加者との思い出は生涯の宝物です。</p>

## 7. 各グループにおける政策提言の発表（主な内容）

<p><b>3. Health</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Provide a <b>free education</b> on biological aging/age-related diseases to local residents at community health center, allowing people to gain better understanding of the changes that might follow with the process of aging.</li> <li>Develop a health care system centered on <b>long-term care</b> for chronic diseases such as atherosclerosis, cardiovascular diseases, arthritis, and Alzheimer's disease</li> <li>Provide a <b>home-based medical care</b>, in which doctors and nurses visit elderly people's houses, and regularly check-up their medical status.</li> </ul>	<p><b>2. First Policy: 温故知新</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Provide subsidies and incentives such as loans, low interest and low tax</li> <li>Evaluating for the feasibility of the item</li> <li>Hire old people as helpers to vitalize the community</li> <li>Provide accounting and consulting services in relation to the elderly community</li> </ul>
<p>&lt;グループ A&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢に伴う病気について理解を深める</li> <li>慢性疾患といった長期ケアに対するヘルスケアシステムの向上</li> <li>在宅医療の提供</li> </ul>	<p>&lt;グループ B&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助金・奨励金の提供</li> <li>高齢者を地域復興のヘルパーとして雇う</li> <li>高齢者コミュニティ関連の助言サービスを行う</li> </ul>
<p>(3.3) KNOWLEDGE SHARING</p> <p>Elderly: Wanting to deliver personal stories Young: Wants to listen, but lazy</p> <p>Opportunities to deliver their stories through video sharing and live broadcasting sites.</p> <p>Easy-access to the ancestors' wisdom</p>	<p>Japan, China and ROK Trilateral Youth Summit 2016<sup>1)</sup></p> <p>Date: 2016.08.25 Group D Member's Name: Daichi Ueda, Won Sun Yoo, Siko Liu, Jihye Park, Hikaru Shirai, Shangmin Chen</p> <p><b>Policy recommendation<sup>2)</sup></b></p> <p>Theme: Community development addressing declining birthrate and aging population. Topic: "Our ideal Age-friendly community" - What we can do today -<sup>3)</sup></p> <p>We recognize the importance of collaborating with the private sector for providing vitality to the industry that deals with aging population. It is, therefore, important to provide incentives for companies and entrepreneurs on government levels to facilitate innovations that could prove to be breakthrough in the conundrum of aging population. We propose Fair for Elderly Population as a channel through which above innovation can come to realization. With each government taking turns in hosting the Fair annually at a city that is taking innovative steps in addressing the problems, the Fair can attract many companies and entrepreneurs to gather, and show and share their ideas about products and technology related to the aging population.</p>
<p>&lt;グループ C&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の持つ知識をネットのビデオやサイトで配信する機会を持つことで、先人たちの持つ知恵を若者が得ることができ、多文化共生につながる</li> </ul>	<p>&lt;グループ D&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者に働く環境を提供する事が大切 例) 海外の学生に母国語を指導し、政府や学生たちから謝礼金を受け取る等</li> </ul>
<p>2016 Trilateral Youth Summit Conclusion</p> <p>Minimize Gender Gap    Establishing Daycare center    Paid Maternity Leave    Cooperation from public sector</p>	
<p>&lt;グループ E&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>男女の不平等さを最小限に抑える</li> <li>産休の付与</li> <li>国・地方自治体による支援</li> <li>デイケアセンターの設立</li> </ul>	